

四條畷市教育委員会ニュース

内容：

- 2年目をむかえた家庭学習用教材の配布
- ・今年度は小学生1年生～6年生全員配布
- ・アンケート2月の集計結果まとめ

2年目をむかえた家庭学習用教材の配布

○「今年度は小学校1年生～6年生全員配布」



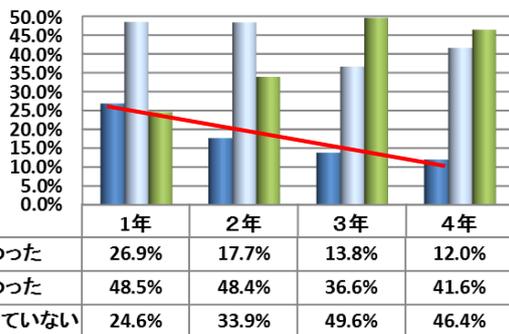
家庭学習用教材の配布について、昨年度は小学校1年生から3年生でしたが、今年度は6年生までの全員対象として実施してきました。学力向上対策プロジェクトチーム会議（小中学校学力向上担当教員と市教育委員会などで構成）で、学校の宿題以外に、おもに予習・復習に活用できるものを選び、家庭学習と自学自習の習慣化をめざし取組んできました。今年度も10月と2月に保護者対象にアンケートを実施してきました。この結果をもとに来年度の家庭学習・自学自習の改善にむけ、さらに努めてまいります。

対象児童数 1年生～6年生 3,594人（4月8日現在数）
 配布した教材 1年生～4年生 「陰山メソッド徹底反復 読み書き計算プリント」小学館
 5年生～6年生 「みんなと学ぶ小学校算数 計算ドリル上、下」学校図書（教科書に準拠）

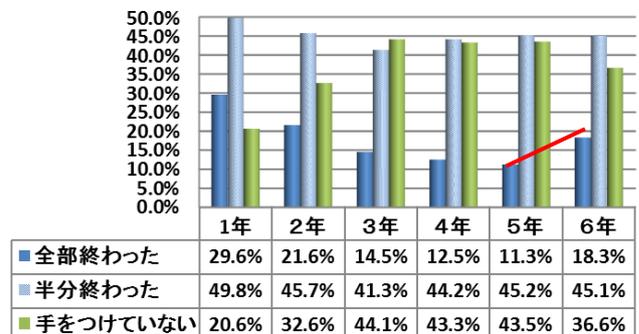


教材の進み具合は？「やはり学校・家庭の声かけ、働きかけが大切！」

国語



算数



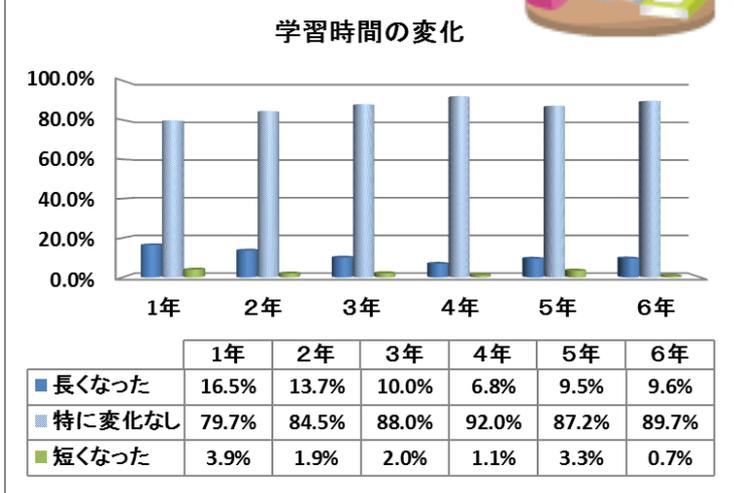
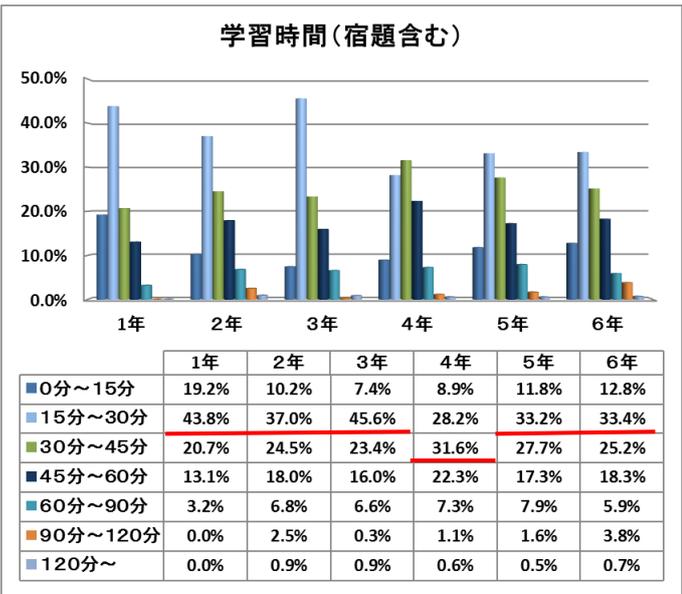
1年から4年は、「読み・書き・計算」の力を養う学習に重点を置いて教材を選んできました。学校の学習で学んだところを家庭でも繰り返し反復することで、計算力と漢字力が身につく、基礎学力が定着することを目的にしました。5年～6年は、算数に限定し、教科書に合わせて習ったところを家庭学習でも繰り返し練習することで、確かな計算力が身につくことを重点に選んできました。前期用・後期用と2冊配布しています。

アンケート結果から、学年の活用状況の傾向を見ますと、「できる範囲は全部終わった」では、1年が一番高く、学年が進むにつれ、低くなっています。学校の学習の進み具合に合わせて、復習などに使う教材として考えていましたが、まだ終わっていないところは、この春休みの学習に活用する計画も残されています。

算数では、6年の「できる範囲は全部終わった」が高くなっています。また、「全く手を付けていない」についても、1年から5年が高くなっていますが、6年では少なくなっていて、教材の活用努力の様子が見えてきます。

これらの傾向は、学校や担任からの働きかけにより、活用度と密接に関係しているとも言えます。学校の宿題にこの教材を活用するなど、学級間で使用の差が生じているところもあります。家庭学習で何をしたらいいか迷いがちな低学年から、具体的に「このページをやってみよう」などの声掛けや働きかけが大切になっています。

家庭学習の時間の様子は？ 学習時間は長くなった？



「子どもたちの家庭学習(宿題も含め)の時間がどれくらい?そして、教材配布により学習時間が長くなった?」この設問は、一番気になることです。

1年—15分～30分(43.8%) 2年—15分～30分(37.0%) 3年—15分～30分(45.6%)
4年—30分～45分(31.6%) 5年—15分～30分(33.2%) 6年—15分～30分(33.4%)

学年が進むにつれ、学習時間が増えることが望ましい状況ですが、4年以外、15分～30分が一番多くなっています。また、学習時間の変化は、すべての学年において、「特に変化なし」が多数を占めていますが、1年から減少している「長くなった」は5年6年になり増加に転じていることから、学習の意欲が向上しているとうかがえます。これらの結果から、来年度当初、すべての保護者に「家庭教育のすすめ Ver. 2」リーフレットを小学校低学年・中学年・高学年・中学校版として学年に応じた内容で配布いたします。

「やってみよう! 自学自習のすすめ」では、「こんな学習おすすり」として具体的な課題を示しています。「家庭学習のポイント」では、望ましい学習時間の設定も示しています。

このリーフレットを参考にいただき、さらに、学校・家庭と相互の連携をふかめ、子どもたちの確かな学力の定着に結びつくことをめざしましょう。

【チャレンジしてみよう!】

【国語】

四條市学力向上対策プロジェクトチーム
高学年バージョン

おすすめ	勉強のしかた
①練習・学習をしよう	1日の学習内容をふりかえる。次の授業で学習する部分の教科書を読む。
②物語を作ろう	毎日、少しずつ文章を書いて物語を完成させる。
③書きをしよう	新聞のコラムや記事、自分の好きな詩を複写する。
④苦手な漢字を練習しよう	テストの予想やテストでできなかった漢字の練習をする。
⑤ローマ字で書こう	身のまわりにあるものをローマ字で表そう。
⑥音読をしよう	情景を思い浮かべながら感情をこめて音読する。
⑦読書記録をつけよう	読書した本の記録をつけたり、感想文を書いたりする。
⑧辞書を使って調べよう	その日に学習した言葉や、読んだ本の中でのわからない言葉、漢字の成り立ち、ことわざ、四字熟語などを辞書を使って調べ、自分の知っていること、思っていることを詩や俳句、短歌などで表現してみる。
⑨俳句・短歌・詩をつくろう	

おすすめ	勉強のしかた
①計算チャレンジカードに取り組みよう	毎日の取り組みをカードに記録して、理解を深める。
②読書紹介カードを作ろう	1週間に1回は、読んだ本の紹介カードをさし絵も描いて、作成する。
③社会科や理科の復習をしよう	社会科や理科など授業で書いたノートをもう一度ノートに書いてみる。
④学習日記を書こう	その日、学習してわかったことや感じたことを書く。
⑤調べ学習をしよう	興味あることについて調べて、ノートにまとめる。(備人調べ、世界の国調べ、実験・観察等)
⑥スケッチをしよう	身のまわりのものをスケッチする。
⑦楽器を演奏しよう	リコーダーなどの楽器の練習をする。
⑧運動をしよう	なわとびや鉄棒、水泳など体を動かす。
⑨テストやプリントのやり直しをしよう	テストやプリントで間違えたところをもう一度解いてみる。
⑩新聞日記を書こう	新聞の気になる記事を読んで、感じたことを書く。テーマに沿ってスクラップする。
⑪実験してみよう	料理や裁縫、小物作りでチャレンジしてみる。

家庭学習のポイント

大切だよ!

- ①まずは宿題を確実に!
- ②集中できる環境を整えて!
- ③低学年は30分、中学年は45分、高学年は60分を目安に!
- ④学習の計画を立てて取り組もう!

保護者と子どもが相談して計画的に学べる環境を作りましょう!

★・・・子どもたちへ ●・・・保護者のみなさまへ

就学前(～5才)

- ★体をほぐして寝かしめよう。
- ★あいさつや返事ができるようにしましょう。
- ★一緒に読書し、しっかひめて、いけないことは真向に伝えましょう。

小学生(1～2年生)

- ★基本的な生活習慣を身に付けましょう。
- ★学習姿勢の確立には保護者の関わりが大切です。
- ★読書や家庭学習に取り組む環境を作りましょう。

小学生(3～4年生)

- ★正しい生活リズムが定まっているか確認しましょう。
- ★自分のことは自分でやる習慣をつけましょう。
- ★子どものやる気の出る声か7時くらいまで。

小学生(5～6年生)

- ★正しい生活リズムを確立しましょう。
- ★自分で計画・予定を立てて学習をしましょう。
- ★将来に備えながるよう家族の関わりも大切に。

中学生

- ★学習・復習の習慣をしっかりとつけましょう。
- ★自分で学習を立て、計画的に学習に取り組まう。
- ★進路にむけて、目標を明確にして取り組まう。

夢の実現

参考見本

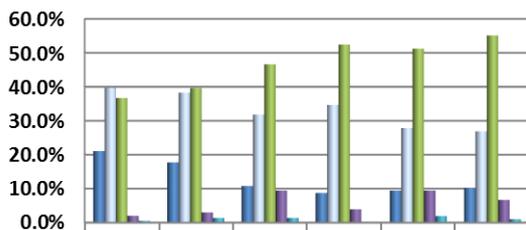
家庭教育のすすめ Ver. 2

小学校高学年版です

配布について、保護者の受け止めは？

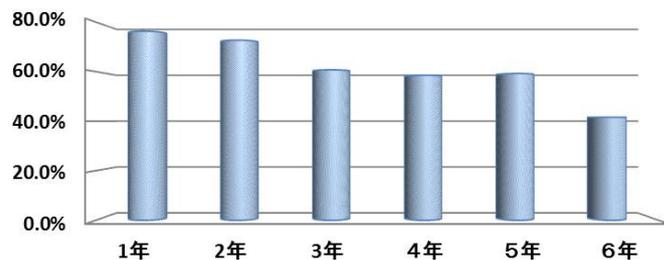


教材配布について



	1年	2年	3年	4年	5年	6年
■非常によかった	21.1%	17.7%	10.8%	8.7%	9.5%	10.2%
■よかった	39.7%	38.2%	31.8%	34.6%	27.9%	26.9%
■どちらでもない	36.7%	39.6%	46.6%	52.4%	51.3%	55.1%
■よくなかった	2.0%	3.0%	9.4%	3.9%	9.5%	6.7%
■非常によくなかった	0.5%	1.4%	1.3%	0.3%	1.9%	1.1%

アンケート回収率(H26.2)



	1年	2年	3年	4年	5年	6年
■回収率	76.3%	72.7%	60.7%	58.5%	59.2%	41.6%

今年度の家庭学習用教材の配布について、保護者からはおおむね肯定的な評価をいただきました。「非常によかった」＋「よかった」の肯定的評価

1年—60.8% 2年—55.9% 3年—42.6% 4年—43.3% 5年—37.4% 6年—37.1%

高学年になるにつれ、自学自習の習慣が身につく、時間を決めて自ら率先して学習するようになってきます。しかし、今回の結果にみられますように、学年相応の家庭学習の時間が確保されていないのが現状です。

来年度も、質・量ともに家庭学習が定着することをめざし、継続して家庭学習用教材の配布を検討しております。

学校と家庭が相互に連携を図り、「子どもへの声かけ、働きかけ」を大切にしながら一層の改善が図られますよう努めていきたく、教職員・保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



保護者の感想から

- ・ 今回頂いた教材は全てこなすことができました。もし可能であれば、次の段階の教材を学校から案内して簡単なものから難しいものまで2～3冊、全員ではなく各家庭の判断で購入することができれば助かります。小さい子どもで大好きな先生の勧めであれば子どもも意欲を持って勉強できやすいのではないかと思います。
- ・ 国語も算数も1冊にまとまっており、量も多くないので子どももやる気が続く感じがする。自分からはすすんでしようとはしないが「この問題わかる？」など、声かけすると興味を持ってくるので、あって良かったと思う。
- ・ 毎朝用意が済んだ後、登校時間までの間に必ず勉強する様にしております。その時間内に家庭で用意している教材に加え、自分で時間を作り配布された教材もしております。自分で学習する力に加え、少しずつ長い時間、机に向かう事が出来ているように思います。
- ・ 家庭学習用の教材はわかりやすく子どもが自分から自主学習をする意欲にもつながり、たいへん助かっています。毎年配布して頂きますようお願いいたします。ありがとうございました。
- ・ 以前はガラガラと宿題をしていましたが最近は問題を解くのが楽しいみたいで集中して勉強するようになりました。
- ・ 宿題のように学校に提出しないといけないとなるとちゃんとするのですが、親がかなり言って少し進めては放置・・・の繰り返しでした。最後までやったら提出にして頂けると全部するのかな？と思ったり。配布して頂いたから配布しない普段より少しでも復習はしたとは思っています。